



コロンビアBMXレーシング選手団の 事前キャンプ日程が決まりました

東京2020オリンピック競技大会BMXレーシング競技に出場するコロンビアBMXレーシング選手団の事前キャンプ日程が決まりましたのでお知らせいたします。

【コロンビアBMXレーシング選手団】5人

- マリアナ・パホン選手（女子・29歳）
（2012年ロンドンオリンピック金メダル、2016年リオオリンピック金メダル）
- カルロス・ラミレス選手（男子・27歳）（2016年リオオリンピック銅メダル）
- ヴィンセント・ペルアール選手（男子・31歳） 他スタッフ2人

【日程】

- ・7月18日（日）午後3時35分 成田空港到着予定
検疫・入国手続き終了後、専用貸切バスで秩父まで移動。
（秩父には午後10時過ぎに到着予定）
- ・7月19日（月）から23日（金・祝）まで、練習会場である大滝「秩父滝沢サイクルパーク」でトレーニングを実施。
- ・7月24日（土）朝に東京都中央区晴海の選手村に向けて秩父を出発。選手村入村。

【メディアを対象とした練習公開日】

- ・7月20日（火）午前10時から11時30分（予定）

【一般の方への練習公開日】

- ・7月22日（木）または23日（金・祝）午前10時から正午（予定）
- ※一般の方への練習公開日は、選手の体調や疲労度をコーチが勘案し、公開日を決定する予定です。公開日は7月19日（月）に決定する予定です。
- ※見学を希望する方は、事前に滝沢サイクルパークのホームページから申し込みをしていただき、応募者が150人を超えた場合は抽選により当選した方にご覧いただきます。（密集を回避するため）
- ※新型コロナ感染予防の観点から、一般の方との直接接する交流事業は行いません。

◆東京2020オリンピック競技大会 BMXレーシング競技日程

- 男子・女子準々決勝 7月29日（木）午前10時から
 - 男子・女子準決勝、決勝 7月30日（金）午前10時から
- 会場：東京都江東区・有明アーバンスポーツパーク ※テレビの生中継はありません。

市長室地域政策課

担当者：荻野・江藤

☎0494-22-2823

FAX：0494-24-7272





「秩父市文化財保存活用地域計画」が 埼玉県内初の文化庁長官認定！

【strong point/ここが言いたい！】

国の文化審議会（会長：佐藤 信）は、令和3年7月16日（金）開催の文化財分科会の審議・議決を経て、秩父市教育委員会が作成し、認定申請を行っていた「秩父市文化財保存活用地域計画」を認定をするよう文化庁長官に答申を行い、同日付で文化庁長官により認定を受けました。

文化財保存活用地域計画は、平成30年の文化財保護法改正によって制度化されたもので、令和元年7月以降、全国の市町村が認定を受けていますが、埼玉県からの認定は、同日に認定を受けた「白岡市文化財保存活用地域計画」と共に今回が初めてです。

文化財保存活用地域計画の概要については、同日付で発表のあった埼玉県の報道発表資料をご参照ください。

■「秩父市文化財保存活用地域計画」について

この計画は、秩父市に所在する指定・未指定にかかわらずあらゆる文化財について、文化財とその周辺環境までを一体的にとらえ、住民・地域・行政などの多様な主体が連携して、「調査」・「保存」・「活用」に関わる事業を行い、確実に文化財を次世代へつなぎ、地域振興に寄与することを目的としています。

【next plan/今後の事業展開】

今後の文化財行政は当計画を基本計画として事業を実施していきます。また、市民の皆さんに市の文化財行政についてご理解・ご協力をいただけるよう、広く周知します。

計画は、市ホームページで公表しておりますので、ぜひご覧ください。

〈同時発表〉文部科学省記者会・県政記者クラブ



教育委員会文化財保護課

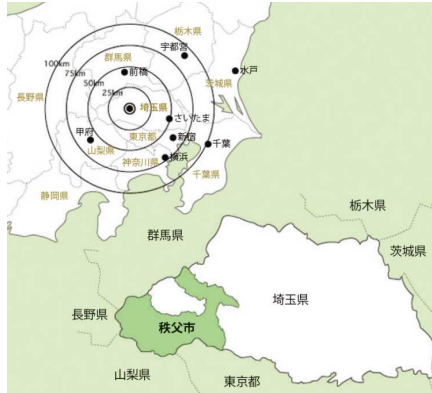
担当者：渡邊

☎0494-22-2481

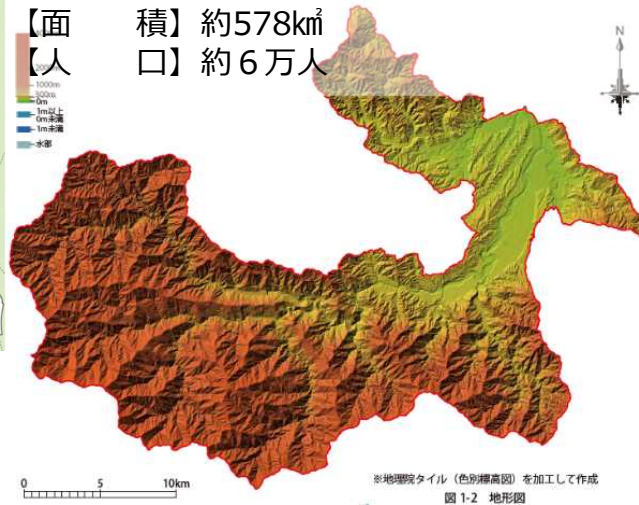
FAX：0494-23-9295



02 秩父市文化財保存活用地域計画【埼玉県】



【計画期間】 令和3～12年度（10年間）
 【面積】 約578km²
 【人口】 約6万人



※地理院タイル（色別標高図）を加工して作成
 図 1-2 地形図

歴史文化の特徴

1. 秩父盆地ができるまで
2. 「山国」秩父
3. 荒川水系と河成段丘
4. 特徴的な遺跡群
5. 道と人々の交流
6. 土地に根付いた産業の歴史
 ～材木・鉱物・生糸・織物・セメント～
7. 多様な祭り・伝統行事・信仰

文化財の概要・特徴

国・県・市指定等文化財は計288件。ほかにも、ふるさと文化財の森の設定地2件、ユネスコ無形文化遺産1件（「秩父祭の屋台行事と神楽」を含む『山・鉾・屋台行事』（33件）の登録）など、多種多様な文化財が存在。

種別	国指定等文化財		県指定等文化財		市指定等文化財		合計	割合 (%)	
	種類	件数	種類	件数	種類	件数			
有形文化財	重要文化財	建造物	1	建造物	4	建造物	17	22	8
		絵画	0	絵画	1	絵画	5	6	2
		彫刻	0	彫刻	2	彫刻	13	15	5
		工芸品	0	工芸品	3	工芸品	14	17	6
		古文書・書跡・典籍	0	古文書・書跡・典籍	3	古文書・書跡・典籍	12	15	5
		考古資料	0	考古資料	1	考古資料	0	1	1
		歴史資料	0	歴史資料	2	歴史資料	1	3	1
	計	1	計	16	計	62	79	28	
	登録有形文化財（建造物）	31				31	11		
	計	31				31	11		
	小計	32	小計	16	小計	62	110	39	
無形文化財	重要無形文化財	0	無形文化財	0	無形文化財	0	0	0	
	小計	0	小計	0	小計	0	0	0	
民俗文化財	重要有形民俗文化財	1	有形民俗文化財	4	有形民俗文化財	28	33	11	
	重要無形民俗文化財	2	無形民俗文化財	8	無形民俗文化財	35	45	16	
	選択無形民俗文化財*	3	選択無形民俗文化財*	2			5	2	
	小計	6	小計	14	小計	63	83	29	
記念物	史跡	1	史跡	6	史跡	46	53	18	
	名勝	0	名勝	1	名勝	2	3	1	
	天然記念物	1	天然記念物	10	天然記念物	22	33	11	
			旧跡	6		6	2		
	小計	2	小計	23	小計	70	95	32	
総計		40		53		195	288	100	

*「選択無形民俗文化財」とは「記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財」を表す。

● 指定等文化財は、
288件
 ● 未指定文化財は、
436件把握

分類／種別		件数
有形文化財	建造物	123
民俗文化財	無形の民俗文化財	101
記念物	遺跡	5
	植物（植物群落含む）	172
	地質鉱物	35
総計		436

推進体制

● 秩父市

教育委員会事務局文化財保護課、市立各小・中学校、市長室地域政策課、総務部危機管理課、環境部森づくり課、市民部生涯学習課・公民館、産業観光部観光課、地域整備部都市計画課・各道路関係課、吉田総合支所地域振興課、大滝総合支所地域振興課、荒川総合支所地域振興課 等

● 関係機関

各市内資料館・秩父図書館・秩父まつり会館・ちちぶ銘仙館・龍勢会館・秩父事件資料館・石間交流学习館・秩父市文化財保護審議委員会・秩父市文化財調査会 等

● 埼玉県や域外の関係機関

埼玉県教育局市町村支援部文化資源課・各県立博物館・秩父警察署・小鹿野警察署、秩父消防本部・横瀬町・皆野町・長瀬町・小鹿野町・秩父地区文化財保護協会 等

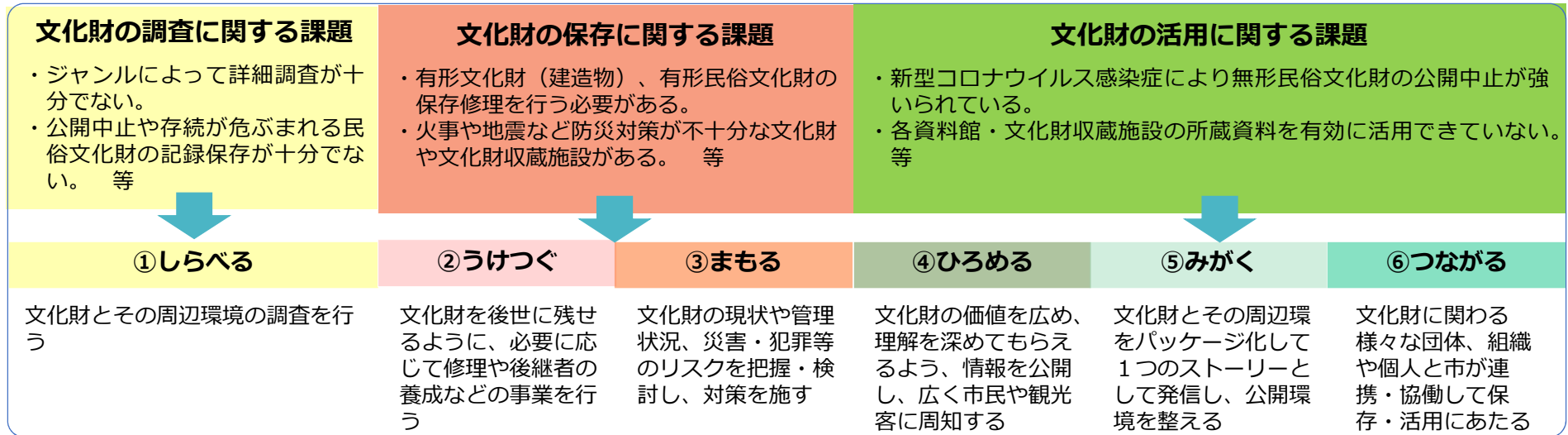
● その他民間団体等

一般社団法人秩父地域おもてなし観光公社、一般社団法人秩父観光協会、NPO法人秩父まるごと博物館、文化財保存団体（祭り、民俗芸能、史跡、天然記念物等）、各研究団体・各町内会・青少年育成会・こども会 等

将来像

文化財の次世代への継承、文化財を通じた地域コミュニティの形成、新たな文化財の発見
秩父市の魅力向上、歴史・文化・自然を活かしたまちづくり、観光客の誘引

文化財の保存・活用に関する課題 及び 基本的な方向性



文化財の保存・活用に関する措置の例

<h3>民俗文化財調査事業</h3> <p>中止・消滅の危機に瀕している民俗文化財について、優先順位を検討した上で、順次、記録保存の措置を講じるとともに、公開資料としての有効活用を図る。</p>  <p>フセギ行事（福田のフセギ）</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 取組主体: 市、秩父市文化財保護審議委員会 ■ 計画期間: R3～12年度 	<h3>文化財保存修理事業</h3> <p>市指定有形文化財（建造物）「旧大宮学校校舎」や「内田家住宅」、国登録有形文化財（建造物）「旧秩父駅舎」等の保存修理を実施する。</p>  <p>旧大宮学校校舎</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 取組主体: 市、地域住民、関連団体 ■ 計画期間: R3～12年度 	<h3>「秩父市デジタルミュージアム（仮）」事業</h3> <p>秩父市の指定文化財や各資料館で所有している資料等のデジタルデータ化を行い、デジタルミュージアムサイトを作成して公開・活用する。</p>  <p>デジタルミュージアムのイメージ図</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 取組主体: 市、秩父市文化財保護審議委員会 ■ 計画期間: R3～7年度
---	--	--

文化財の一体的・総合的な保存・活用



歴史文化の特徴に基づき、 10の関連文化財群を設定

1-1 秩父盆地に眠る太古の海（古秩父湾）の物語

今から約1700万年～1500万年前の新生代期は、秩父市は海でした。「古秩父湾」と呼ばれる海に関する文化財をまとめた。



5-1 「秩父往還」に残る歴史の足跡

秩父市は古くから人々の往来が盛んでした。ここではそうした往来をつなぐ「道」の中でも「秩父往還」を中心に様々な文化財を1つにまとめた。



2-1 「山国」の暮らし

秩父山系の山々に囲まれた環境の下で、人々は古くからその環境に順応し、生活を営んできました。その暮らしの様子をまとめた。



6-1 秩父の「絹」文化

秩父の人々の生活は古くから絹と密接な関係にあり、長きに亘って秩父の基幹産業を支えました。そうした絹に関わる歴史の流れを一体的に捉え、1つにまとめた。



3-1 山と段丘が織りなす水の恵み

「水」をテーマに、特に武甲山にまつわる水の伝承と秩父市域に見られる「湧水」に関する文化財をまとめた。



6-2 武甲山の石灰石採掘史

武甲山の「石灰岩質」という特性により、近世末期以降に発展した産業の歴史とそれに伴う近現代の秩父をテーマに、様々な文化財をまとめた。



4-1 2つの「和銅」

秩父市の遺跡の中でも代表的な存在として名高い「和銅遺跡」は、古代と近世の2つの時代に分けられます。ここでは「和銅」にまつわる様々な文化財を1つにまとめました。



7-1 小集落の、小さな祭りと行事

秩父の各地に数多く残る祭りや伝統行事の中でも、集落単位で続けられている祭りや伝統行事を1つのテーマとしてまとめました。



4-2 群集する古墳

秩父市の遺跡の特徴の1つとして、各地に「古墳群」が点在していることが挙げられます。ここではそうした「古墳群」に焦点を当てて、1つにまとめました。



7-2 笠鉾・屋台文化

秩父祭をはじめとして、秩父各地で曳行されている笠鉾・屋台とその行事について1つのテーマとしてまとめました。



関連文化財群 2つの「和銅」

黒谷地区には、国内初の自然銅が発見されたという伝承がある地点を中心とした「和銅遺跡」があり、近年はそうした逸話もあって「金運向上」のためのスポットとして、多くの観光客が訪れている。

「和銅遺跡」は時代によって異なる2つの遺跡群に大別することができる。

1つは、先述した慶雲5年(708)に国内初の自然銅が発見されたとされる和銅沢を中心とした遺跡群である。この発見によって、全国的には元号が「慶雲」から「和銅」に変更されたことやこの後に鑄造された通貨が「和同開珎」となったことが有名であるが、黒谷地区では「金山彦命」を祭神とし、遺跡地の北側に位置する聖神社がこの発見を機に建立されたといわれている。この聖神社には、遺跡地から発見されたと伝えられる自然銅の他、この発見を称えて当時の天皇である元明天皇から下賜されたと伝わる銅製のムカデ1対が、宝物庫に奉納されている。

もう1つは、江戸時代を中心に、自然銅発見伝承の地から南に位置する金山で展開された銅採掘の遺跡である。金山には今も、銅を採掘した複数の横坑の他に掘り出した銅を製錬した場所が残っている。

また、周辺地域には銅にまつわる地名や銅採鋳に係る出納役を担った地域の名主である内田氏の住宅も残っており、古代とは異なり産業的・商業的に銅採鋳が行われていたことをうかがい知ることができる。



市指定有形文化財(建造物)
「内田家住宅」



図7-4 関連文化財群4-1 構成文化財分布図

【課題】

- 古代の「和銅遺跡」の公開環境(特に遊歩道)に危険箇所があり、安全性が低い。
- 近世・近代期の「和銅遺跡」に係る文化財の整備が、保存・活用両面で十分でない。
- 近世・近代期の「和銅遺跡」の核となり得る文化財について、倒壊の危険性が高くなっている。

【方針】

- 安全な見学環境を整備する。
- 近世・近代期の「和銅遺跡」の一体的なPRを行う。
- 近世・近代期の「和銅遺跡」の拠点となり得る文化財(市指定内田家住宅)を整備する。

【措置】

- ① **文化財保存修理事業**
 - 近世・近代の「和銅遺跡」の拠点となる市指定有形文化財(建造物)「内田家住宅」の保存修理計画を検討する
- ② **文化財公開環境整備事業**
 - 「和銅発見の伝承地」を中心に、古代の「和銅遺跡」の見学環境の整備を行う
 - 「市指定内田家住宅」の保存修理に伴い、駐車場や便益施設等の整備を検討する
 - 市ホームページ内「秩父市の文化財」のページにおいて、関連文化財群の概要や構成文化財の情報、アクセス等を紹介する

<報道発表資料>

令和3年7月16日

文化財保存活用地域計画の認定について —秩父市・白岡市が県内から初の文化庁長官認定—

(同時発表：文部科学記者会)

国の文化審議会（会長：佐藤 信）は、令和3年7月16日（金曜日）開催の同審議会文化財分科会の審議・議決を経て、秩父市教育委員会と白岡市教育委員会が作成し、認定申請を行っている文化財保存活用地域計画を、それぞれ認定するよう文化庁長官に答申を行い、同日付で文化庁長官により認定されました。

文化財保存活用地域計画は平成30年の文化財保護法改正によって制度化されたもので、令和元年7月以降、全国の市町村が認定を受けていますが、埼玉県からの認定は今回が初めてです。

■文化財保存活用地域計画について

「文化財保存活用地域計画」は、平成30年の文化財保護法改正によって制度化された、市町村における文化財の保存と活用に関する総合的な法定計画であり、市町村の総合計画の下に位置付けられるものです。この計画に基づき、文化財を総合的・一体的に保存・活用することにより、地域の特徴を活かした地域振興に資すると共に、確実な文化財の継承につなげるものです。

■認定の基準

- ・計画の実施が当該市町村における文化財の保存・活用に寄与するものであること
- ・円滑かつ確実に実施されると見込まれるものであること
- ・都道府県が策定した文化財保存活用大綱に照らし適切なものであること

■認定のメリット

関係者がビジョンを共有し連携して文化財保護を推進できることや、部局間連携による計画的な文化財保護行政の推進、国の登録文化財への登録の提案ができる特例措置、一部の文化財関係国庫補助事業の優遇措置などが挙げられます。

■埼玉県教育委員会の関わり

埼玉県教育委員会では、平成30年度から県内市町村の文化財保存活用地域計画作成を促進することを目的として、県外の既認定市町村担当者などを講師とする研修会を実施しています。

また、令和2年3月に域内における文化財の保存・活用に関する総合的な施策を示した「文化財保存活用大綱」を策定しました。大綱には県教育委員会が市町村による文化財保存活用地域計画策定の支援を行うことが明記されており、市町村が計画作成のために設置する協議会へ委員等として加わっています。

■秩父市文化財保存活用地域計画

<http://www.city.chichibu.lg.jp/9489.html>

■白岡市文化財保存活用地域計画

<http://www.city.shiraoka.lg.jp/15243.htm>

【問い合わせ先】

- 「秩父市文化財保存活用地域計画」に関すること
秩父市教育委員会文化財保護課
電話：0494-22-2481（直通）

- 「白岡市文化財保存活用地域計画」に関すること
白岡市教育委員会学び支援課・文化振興担当
電話 0480-92-1111（内線523）



理科おもしろ実験教室 2年ぶりに開催

埼玉大学と秩父市教育委員会でいう理科おもしろ実験教室について、参加者を半数に減らすなど感染症対策をした上で実施します。

【strong point/ここが言いたい!】

「理科おもしろ実験教室」は、実際に実験や体験をしたりすることにより、理科の本質や魅力に迫り「理科大好き人間」の育成を狙いとした事業です。

平成19年度からはじまり、本年度で15年目を迎えます。

今年度は、会場として秩父農工科学高等学校の生物実験室・化学実験室をお借りし、埼玉大学の松岡圭介先生と学生のご協力を得て開催します。

定員は40人程度ですが、88人の応募をいただき、抽選となりました。



1. 日時 7月31日(土) 午後1時～4時
2. 対象 市内小学校5・6年生
3. 場所 秩父農工科学高等学校 3号館 1F生物実験室 2F科学実験室
4. 講師 埼玉大学准教授 松岡圭介先生 および 学生8人
5. 内容 ①ふしぎな水をつくろう ②発光するゲル(スライム)づくり
③スーパーボールづくり ④ペーパークロマトグラフィー
⑤交通信号反応 (※内容は変更することがあります)

※当日は、会場にて別の催しがあり、駐車場が混み合う場合があります。

教育委員会教育研究所

担当者：古林

☎0494-22-2446

FAX：0494-23-9294





「秩父川瀬祭の川瀬と屋台の行事」が 県の無形民俗文化財に指定！

【strong point/ここが言いたい！】

市の指定無形民俗文化財である「川瀬祭の民俗行事」（指定日：昭和57年9月10日）が、7月26日（月）開催の埼玉県教育委員会において、埼玉県指定無形民俗文化財の新規指定を受けることが決まりました。7月30日（金）の県報告示により、「秩父川瀬祭の川瀬と屋台の行事」という名称で正式に指定となります。

指定に関する詳細については、同日付で発表のあった埼玉県の報道発表資料をご参照ください。

このことについて、保存団体である川瀬祭保存会 会長 北堀篤（秩父市長）のコメントは以下のとおりです。

「この度、秩父川瀬祭の川瀬と屋台の行事が埼玉県の無形民俗文化財指定を受けたことを大変うれしく思います。この行事は秩父神社の氏子が中心となって行われるお祇園の行事であると同時に、地域の子供たちが主役として参加する民俗行事でもあります。今後もこの行事を通して、秩父の子供たちが地域の歴史・文化を継承する担い手として成長していくことを願っています。」



秩父川瀬祭の川瀬と屋台の行事

〈同時発表〉 県政記者クラブ

教育委員会文化財保護課

担当者：渡邊

☎ 0494-22-2481

FAX：0494-23-9295



解禁日時

新聞・ラジオ・テレビ・
インターネット 令和3年7月26日（月）
教育委員会終了後

令和3年7月19日

埼玉県指定文化財の新規指定及び解除について

埼玉県教育委員会は、埼玉県文化財保護審議会（会長：根岸茂夫）からの答申を受け、7月26日（月曜日）開催の教育委員会において、次のとおり埼玉県指定文化財の新規指定2件（無形民俗文化財1件、天然記念物1件）及び指定解除1件（天然記念物1件）を審議する予定です。審議の結果、決定となった場合には、7月30日（金曜日）の県報告示により、正式に指定及び解除となります。

これにより、県指定文化財のうち、無形民俗文化財は51件、天然記念物は86件となり、選択無形民俗文化財を含む県指定等文化財の件数は合計724件になる予定です。

1 新規指定を行う予定の物件

種別	種類	名称	員数	所在地	保存団体及び所有者 (管理者)
民俗文化財	無形民俗文化財	(ちちぶかわせまつりのかわせとやたいのぎょうじ) 秩父川瀬祭の川瀬と屋台の行事	-	秩父市	川瀬祭保存会
記念物	天然記念物	(ちちぶさわらこつかくかせき) チチブサワラ骨格化石	1括	秩父郡長瀬町長瀬 1417-1	埼玉県 (埼玉県立自然の博物館)

2 指定解除を行う予定の物件

種別	種類	名称	員数	所在地	所有者
記念物	天然記念物	(ばんしょうじのしい) 萬松寺のシイ	1本	東松山市大字柏崎字名所 342番地	宗教法人 萬松寺

3 その他

1) 別紙1：提供写真

写真データを御希望の場合は文化資源課（指定文化財担当）にお問い合わせください。

2) 別紙2：各文化財の概要

＜報道発表資料＞

提供写真

1. 秩父川瀬祭の川瀬と屋台の行事



番場町のお水取り行事



笠鉾の曳き回し



神輿洗い



屋台の方向転換

埼玉県

<報道発表資料>

2. チチブサワラ骨格化石



3. 萬松寺のシイ



1 新たに埼玉県指定文化財に指定するもの

(1) ちちぶかわせまつりのかわせとやたいのぎょうじ 秩父川瀬祭の川瀬と屋台の行事

(民俗文化財・無形民俗文化財)

秩父市

- ・秩父川瀬祭の川瀬と屋台の行事は、荒川上流から中流域にかけて、また荒川支流でも行われている「川瀬祭り」「川瀬行事」等と呼ばれる行事の一つである。
- ・秩父市番場町に鎮座する秩父神社の摂社である日御碕神社ひのみさきの例大祭であり、地元では「お祇園」と呼ばれ、秩父神社の神輿が川入りする神輿洗い行事が行われ、付け祭として屋台・笠鉾かさぼこの曳き回しが行われる。
- ・現在は、毎年7月19日頃に町会ごとに若衆が荒川で水を汲み、地域を清めるお水取り行事が行われる。20日午後には神輿の荒川への渡御とぎよが行われ、氏子の17町から選ばれた神輿担ぎに担がれた神輿が川に入って神輿をもみ、水を掛けて清める神輿洗いを行う。19日、20日ともに付け祭として、屋台4基、笠鉾4基が市中を曳き回される。冬の秩父祭が大人の祭りとされるのに対して、子供の祭りと言われており、特に屋台囃子ぼやしや曳き子は、子供たちが中心的役割を担っている。
- ・本件は、地域の災厄防除・悪疫退散を祈願する祇園系の夏祭りの系譜に連なる祓いの行事の一つであり、民俗的要素を豊富に伝えている。また、屋台囃子や笠鉾・屋台の囃子手と曳き子を子供たちが中心となって担っている点も、祇園系の夏祭りの地域への定着の在り方を示すものとして特色がある。地域の基盤的な生活文化の特色を示すもので典型的なものとして価値が高い。



子供が囃子手を務める



番場町のお水取り行事

(2) ^{ちちぶさわらこっかくかせき}チチブサワラ骨格化石（記念物・天然記念物）

長瀬町

- ・秩父郡小鹿野町般若の新生代新第三紀中新世（約 1550 万年前）の古秩父湾堆積層から産出した県立自然の博物館が所蔵する大型魚類の骨格化石である。
- ・保存状態が良好で、頭蓋骨や^{えらぶた}鰓蓋周辺の骨や肋骨、脊椎骨の一部が産出しており、産出部位から推定される全長は約 2 m である。
- ・1994 年に、本標本をホロタイプとして、サバ目サバ亜目サバ科サワラ族サワラ属の新種 *Scomberomorus chichibu*（和名：チチブサワラ）として記載された。ホロタイプは種の同定の基準となる世界で唯一の標本のことで、県内に所在する唯一の県産硬骨魚類化石のホロタイプであり、埼玉県産出魚類化石の中で代表的存在である。
- ・サワラの仲間の化石は産出例が少なく、化石標本のほとんどが断片的なものであるが、本標本は頭の骨を中心に比較的多くの骨を残し、当時のサワラ族の姿を知るために重要であり、その起源や進化を解き明かすために重要な標本である。
- ・日本列島形成時の地殻変動と当時の古環境を物語る古秩父湾堆積層から産出したチチブサワラは、古秩父湾の生物相が多様であったこと示す化石であり、当時の古生態や古環境を知る上で重要であり、地域の地形・地質の成り立ちを知ることができることから、学術的価値が高い。



チチブサワラ骨格化石

2 埼玉県指定文化財の指定解除とするもの

(1) 萬松寺のシイ（記念物・天然記念物）

東松山市

- ・昭和 10 年 3 月 31 日に指定された樹齢約 500 年とされるスダジイの古木である。昭和 58 年時には幹周り 5.7m、樹高 9m を誇った。当初は同敷地内の 2 本が指定されていたが、平成 12 年に 1 本が枯死したことから平成 13 年 3 月 16 日に一部指定解除された。
- ・残った 1 本に令和元年 12 月 31 日に線香の火が移り延焼、枯死したことにより文化財としての価値を失った。



萬松寺のシイ



林業就業者対策事業を行います！

市では、多くの若者に林業へ興味を持っていただくため、
秩父農工科学高等学校の生徒を対象に
チェーンソー取扱安全教育や秩父地域の森林で伐木体験を行います。

【strong point/ここが言いたい！】

1 日時

8月3日（火）～6日（金）

各日：午前9時～午後4時10分頃

2 場所

チェーンソー取扱安全教育（3日～5日）

秩父農工科学高等学校 森林科学科棟

伐木体験（6日）

秩父郡小鹿野町倉尾地内



（参考）伐木の様子

3 内容

秩父市は山に囲まれた森林大国ですが、地元の高校等を卒業して秩父地域の林業関係への就職される方は少ない状況です。そのため、市内の高校生等多くの若者に森林の仕事について体験し、知ってもらうことで、林業を進路の選択肢の一つとしていただき、就業機会の増加を図ります。

- ・伐木等の業務に係る特別教育（チェーンソー取扱安全教育）
- ・伐木、測量体験

※本事業受託事業者：秩父広域森林組合

【next plan/今後の事業展開】

次回は11月頃に、森林科学科2年生の生徒を対象に、高性能林業機械を用いた林業の見学や木材センターにて、木材市場の体験や見学を予定しています。日程が決まり次第、お知らせします。

環境部森づくり課

担当者：茂木

☎0494-22-2369

FAX：0494-22-2309





マリアナ・パホン選手が銀メダル カルロス・ラミレス選手が銅メダルを 獲得しました！

東京2020オリンピック競技大会BMXレーシング競技

東京2020オリンピック競技大会のBMXレーシング競技において、「秩父滝沢サイクルパーク」で事前キャンプを行ったコロンビア共和国のマリアナ・パホン選手が銀メダルを、カルロス・ラミレス選手が銅メダルを見事獲得しました！おめでとうございます。

【北堀篤秩父市長からのコメント】

マリアナ・パホン選手、そしてカルロス・ラミレス選手、メダル獲得おめでとうございます。「秩父滝沢サイクルパーク」で事前キャンプを行ったお二人が活躍されたということで、私も心から喜んでおります。前回大会に続き、メダルを獲得するということは、その陰で大変な努力を積み重ねていたことは想像に難くありません。その姿勢に心より敬服いたします。新型コロナウイルスの感染流行が収束しましたら、ぜひまた秩父にお越しいただき、今度はゆっくりとお楽しみいただきたいと思っています。

市長室地域政策課

担当者：荻野・江藤

☎0494-22-2823

FAX：0494-24-7272

